

用語の解説

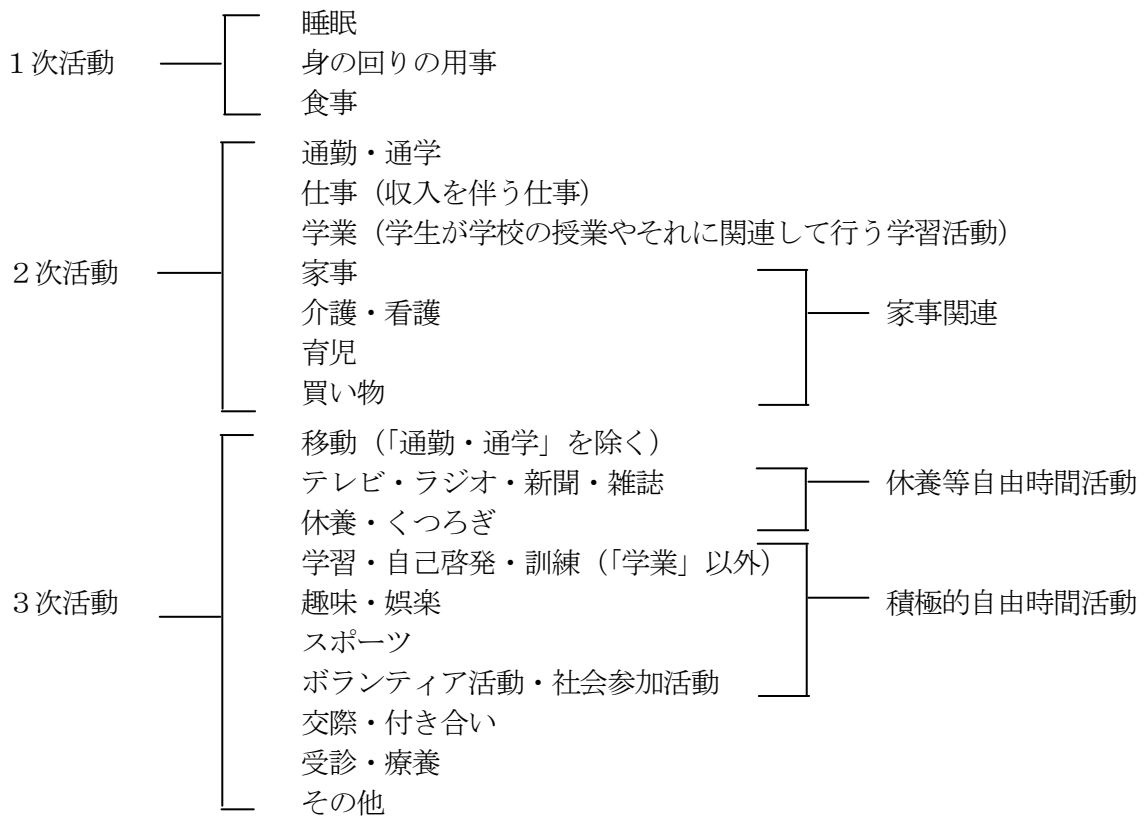
1 生活時間に関する事項

この調査では、1日の行動を20種類に分類し、時間帯(15分単位)別の行動状況(同時に2種類以上の行動をした場合は、主なもの1つ)を調査しました。

(1) 行動の種類

20種類の行動は、大きく3つの活動にまとめられ、睡眠、食事など生理的に必要な活動を「1次活動」、仕事、家事など社会生活を営む上で義務的な性格の強い活動を「2次活動」、これら以外の各人が自由に使える時間における活動を「3次活動」としています。また、必要に応じて、「家事関連」、「休養等自由時間活動」、「積極的自由時間活動」の区分を用いました。

区分ごとの行動の種類は、次のとおりです。



(2) 平均時間

行動の種類別平均時間は、一人1日当たりの平均行動時間数で、次の種類があります。

週全体平均…次の式により曜日別結果を平均して算出しました。

$$\text{週全体平均} = (\text{月曜日平均} + \dots + \text{日曜日平均}) \div 7$$

曜日別平均…調査の曜日ごとに平均値を算出したもので、平日平均(月～金曜日の平均値)、土曜日平均、日曜日平均があります。

2 生活行動に関する事項

この調査では、「学習・自己啓発・訓練」、「ボランティア活動」、「スポーツ」、「趣味・娯楽」及び「旅行・行楽」について、過去1年間（平成22年10月20日～平成23年10月19日）にそれぞれの種類別に活動を行ったか否か、行った場合には、活動頻度や目的、方法、共にした人などを調査しました。

(1) 過去1年間に行った活動

- 学習・自己啓発・訓練…個人の自由時間の中で行う学習、自己啓発や訓練をいいます。社会人の職場研修や、児童・生徒・学生が学業（授業、予習、復習）として行うものは除き、クラブ活動や部活動は含みます。
- ボランティア活動…報酬を目的としないで自分の労力、技術、時間を提供して地域社会や個人・団体の福祉のために行っている活動をいいます。
- スポーツ…余暇活動として行うスポーツをいいます。職業スポーツ選手が仕事として行うものや、学生が体育の授業で行うものは除き、クラブ活動や部活動は含みます。
- 趣味・娯楽…仕事、学業、家事などのように義務的に行う活動ではなく、個人の自由時間の中で行うものをいいます。
- 旅行・行楽…旅行は、1泊2日以上にわたって行う全ての旅行をいい、日帰りの旅行を除きます。行楽は、日常生活圏を離れ、半日以上かけて行う日帰りのものをいい、夜行日帰りを含みます。

(2) 行動者数、行動者率、平均行動日数

行動者数…過去1年間に該当する種類の活動を行った人（10歳以上）の数。

行動者率…10歳以上人口に占める行動者数の割合で、次の式により算出されます。

$$\text{行動者率} = \text{行動者数} \div \text{各属性の10歳以上人口} \times 100 (\%)$$

平均行動日数…行動者について平均した過去1年間の行動日数で、頻度別の行動者数に基づき、次の式により算出されます。

$$\text{平均行動日数} = \frac{\sum (\text{頻度階級の中央値} \times \text{頻度階級の行動者数})}{\sum \text{頻度階級の行動者数}}$$

なお、各階級頻度は次の値としました。

頻度階級	中央値
年に 1～ 4日	2.5日
年に 5～ 9日	7.0日
年に 10～ 19日（月に1日）	14.5日
年に 20～ 39日（月に2～3日）	29.5日
年に 40～ 99日（週に1日）	69.5日
年に100～199日（週に2～3日）	149.5日
年に200日以上（週に4日以上）	282.5日